

機械工学科

[中牟田研究室]

中牟田先生



人工培養骨開発で骨再生医療に貢献
機械工学の力を医療に生かす！

ヒトの体の中にある206個の骨。実は記憶力や免疫力の維持にも貢献しており、健康に欠かせない存在です。小さな骨折は自ら復元できますが、大きく欠損すると自己再生が難しくなります。そこで、骨の再生医療で使用される人工材料の開発を行っています。機械工学だけでなく、材料・生物生命・医療といった異なる分野の専門家が協力し、異分野融合研究として世界でも先端の開発に取り組んでいます。

元山さん 大学院 工学研究科 機械工学専攻
修士課程1年生 熊本県 / 文徳高校出身

学科の垣根を越えた
研究が大きな経験に

医用工学を学ぶために本学へ入学。未知の可能性を秘めた人工培養骨の研究に惹かれました。様々な素材を組み合わせ、骨としての強度と細胞を育てる包容力を併せ持つ材料にたどり着きました。ナノサイエンス学科、生物生命学科など他学科と協働することで、研究で、自分の知識の幅も大きく広がったと実感しています。

